

平成 30 年度 事業報告書

第 53 期 〔 自 平成 30 年 4 月 1 日 〕
〔 至 平成 31 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人 日本自動車査定協会

第53期 事業報告書

概況

2018年の世界経済は、米国の通商政策、特に中国との貿易摩擦の激化や金利上昇などの影響、さらに中国、欧州経済の減速、英国のEU離脱交渉の動向など先行き不透明感を増しつつも、全体としては緩やかな回復が継続した。

一方、日本経済は、企業収益が過去最高となる中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、ゆるやかな回復基調が続いている。

ただ、政府は本年3月、月例経済報告において「緩やかに回復している」から「このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している」と下方修正した。

下方修正は2016年3月以来、3年ぶりとなるが、2012年12月から続いている戦後最長の景気回復局面については、個人消費と設備投資が堅調さを維持しているため「現時点で得られる情報では途切れたとは考えていない」とし、4月の月例報告においてもその判断を据え置いたところである。

このような中、2018年度の国内の登録車及び軽自動車の新車の総販売台数は、前年度比1.2%増の5,259,509台となり、3年度連続で500万台を超えた。このうち、登録車は、3,336,590台、軽自動車については3.4%増加したものの1,922,919台と4年連続で200万台割れとなった。

一方、2018年度の中古車市場は、登録車が前年度比0.4%増の3,842,947台、また、軽自動車は1.5%増の3,112,416台と微増となり、2年連続で300万台を超えた。

このような状況の下、当協会としては、自動車販売業界における中古車部門の重要性が高まる中、消費者に信頼される中古車査定制度の普及・浸透を主目的に諸事業を展開した。

販売店で利用されている中古自動車査定基準については、環境の変化に対応し適宜見直しを行っている。その結果について、全国各支所での研修会、講習会といった機会を活用し、周知徹底に努めているところである。

査定制度の充実、普及のためには、販売店における中古自動車査定士の資格取得者の増加を図ることが重要であることから、毎年2回の中古自動車査定士技能検定試験を実施している。2018年度についても、6月、12月に実施したが、申請者は13,458名、前年比4.3%下回った。最近における自動車販売店の統廃合や社員の減少という環境もあるが登録査定士は2019年3月末現在135,356名となり、前年と比べ262名増加した。

販売店、信託会社等からの依頼により当協会職員が行う査定については、37,518台で前年比105.7%とほぼ横ばいとなった。また、消費者・ユーザーから依頼され、修復歴の有無について確認する車両状態確認証明事業は、5,717台で前年比94.3%と減少した。

オークション出品車両の事前検査事業の検査台数は65,217台と前年同期比94.3%と減少した。

また、商品中古車の確認証明申請台数は174,402台、前年比103.1%と増加した。

中古車輸出検査事業については、スリランカ、モーリシャス、バングラデシュなどを中心に、15,940台と前年比123.4%となった。なお、多くの民間企業がこの分野にも進出していることや、東アフリカで輸出検査を義務付けている対象国が国際入札を実施していることもあり、今後当協会として対応の難しさが更に増すものと思われる。

このような中、協会の主要業務に成長した車両状態証明事業（V-CON）についても、検査台数が120,372台と前年比121.2%と増加した。

カーチェックシートのWeb版システム「カーチェックス」については、5メーカーで基幹システムに連動する構築をしており、更なる利便性のため、改修を随時行っている。

また、基幹システムに連動していないメーカーでも検討を進めている。

また、日刊自動車新聞社よりオートオークション検索サイト「AAD-NET」の事業提供を受け査定協会として新たな事業展開を図った。

当協会が発行する中古車に関連する参考書としての査定ガイド、価格情報誌であるイエローブック、シルバークック等の各種ガイドブックは、自動車販売関連企業の統廃合、社員の減少、経費の節減等から販売環境は厳しく、販売部数は減少しているが、参考資料として引き続き高い評価を得ている。世の中が紙媒体から電子媒体へ移行するなか、当協会の電子メディア「JAAI-Net」を通じて我が国で販売されている全ての自動車に関する型式・装備内容等の情報を提供しているが、2018年度においても、迅速な情報の提供と内容の充実を図るとともに利用者の利便性も図っている。

2018年度の当協会事業については、各種事業を積極的に推進し、事業の合理化、経費の節減等に努めたところであるが、厳しい経済環境等もあり、非収益事業は大幅赤字、収益事業は黒字、全体としては黒字の決算となった。

主要事業内容

1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

(1) 中古自動車査定士技能検定試験の年2回実施

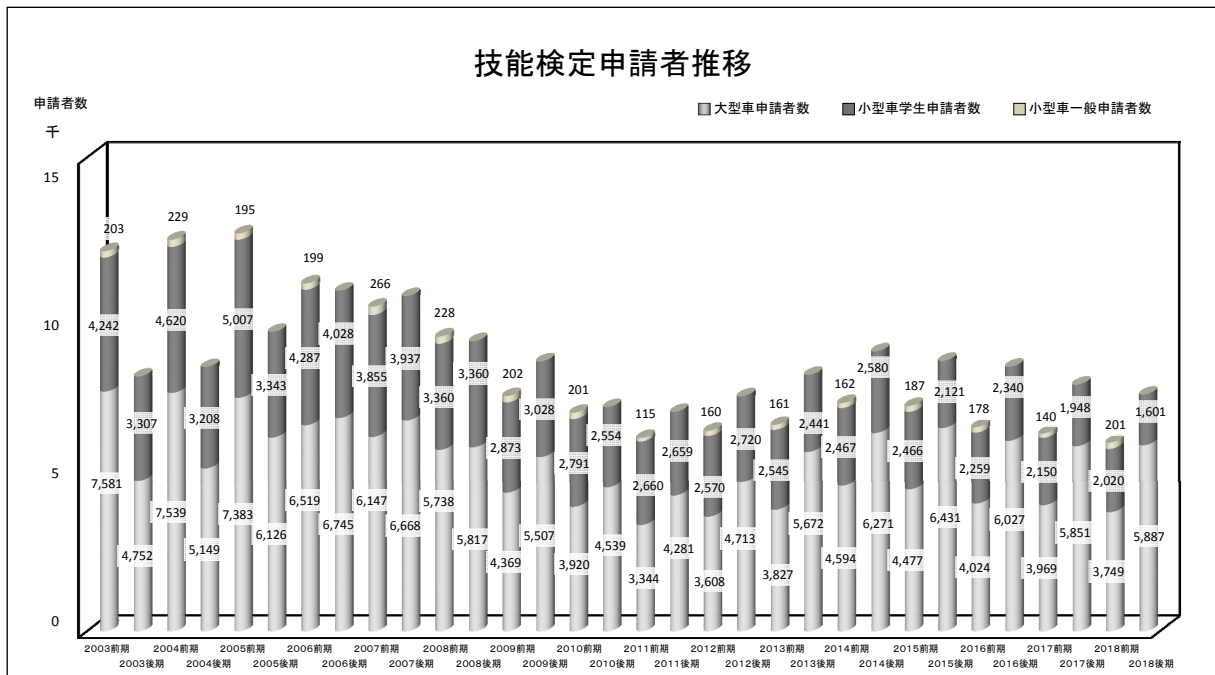
自動車市場の成熟化とともに自動車業界における査定制度の重要性がますます高まる中、当協会では技能検定試験受験申請者の受験機会拡大の観点から、1996年度以降毎年、技能検定試験を2回実施し、申請者の利便性向上に努めてきた。

2018年度においても6月に前期、12月に後期と年2回の技能検定試験を実施し、査定制度普及に努めた。

前期並びに後期の技能検定結果は、下表の通りであった。

	小型			大型	合計	前年	対前年比
	前期	後期	計	前期のみ			
申請者数	5,769名	7,488名	13,257名	201名	13,458名	14,058名	95.7%
(内学生)	(2,020)	(1,601)	(3,621)	(—)	(3,621)	(4,098)	88.4
受験者数	5,469	7,117	12,586	195	12,781	13,360	95.7
(内学生)	(1,885)	(1,540)	(3,425)	(—)	(3,425)	(3,874)	88.4
合格者数	4,178	5,768	9,946	186	10,132	10,754	94.2
(内学生)	(1,367)	(1,193)	(2,560)	(—)	(2,560)	(2,977)	86.0
合格率	76.4%	81.0%	79.0%	95.4%	—	—	—

2018年度の受験申請者総数は13,458名となり、前年の14,058名を600名(4.3%)下回った。



小型車の通年合格率は79.0%となり、昨年の80.3%を1.3%下回る結果となった。2019年3月末現在の登録査定士は135,356名で前年の135,094名を262名上回った。また、査定業務実施店数は7,843社で前年の7,838社を5社上回った。

(2) 中古車市場に対応した査定基準の見直し及び円滑な定着・促進

現行の加減点基準において、走行キロ加減点の率表、及び修復歴減点に使用する“みなし修理費”について、実際の修理見積額との乖離がどの程度あるのか検証を行った。また、外板パネルの「取外し穴」及び「亀裂」について、加減点基準を2019年4月1日より変更することとした。

(3) 適正査定のための査定士に対する研修および講習の充実

中古自動車査定士証の有効期間は3年と定められており、査定士証更新のための研修受講は登録を維持する条件となっている。この義務付け研修会は、2018年度は全国各支所で441回実施され、34,065名が受講した。この中には実車を用いての研修会が50回含まれており、1,101名が受講した。

また、「写真で行う机上査定」の教材を使用して査定士証更新時の技能向上研修と併せて「特別講習」として積極的に研修した。

義務付け研修会以外に各支所単位では、支所が主催する研修会や販売店からの依頼による任意研修会を実施しており、その回数及び受講者は1,076回、12,788名となっている。最近では事故車(修復歴車)の見分け方のニーズが増加しているが、基本的な「車両の点検手順」あるいは「車両状態の表記方法」についての研修を要望したところもあるなど、実車を用いた研修が1,076回中950回と実車中心となっている。

(4) 業界が実施する中古自動車査定士技能コンテスト等への積極的協力

例年ホンダ自動車販売店協会並びに本田技研工業(株)では所属査定士の技能と知識を競い合うことを目的として全国コンテストを実施しており、当協会では予選段階からこれに積極的に協力した。都道府県レベルの予選会では、インターネットによる試験が実施されたが、当協会はその問題作りに協力し、ブロックレベルの地区大会並びに全国大会においても、学科試験問題の作成、実車査定の車種選定、正解作成、採点等において協力した。

また、スズキ(株)では今年度も代理店社員の査定技術向上の一環として、机上査定試験が行われ、全国で代理店88社、5,566名が受験した。当協会では、机上査

定問題の作成及び採点でスズキ(株)に協力した。更にスズキ(株)では修復歴と外板の状態を正しく判断できる営業担当者にスズキ独自の査定士資格を付与するため、「スズキ認定査定士技能検定」を実施していることから、当協会では受験者の教育、試験車両の事前査定及び試験での協力を行った。

また、日産自動車(株)からは、社員の査定技術向上の一環として「査定スキルアップ講習」の開催依頼があり、適宜、講習を行った。この講習は2コースあり初級は座学による査定の概要、中級は実車を使用した修復歴発見、痕跡の解説を行うもので、販売店査定士の査定技能向上に協力した。

(5) 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会への研修協力

2011年度より一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会では会員の知識・技能の向上の一環として「中古自動車販売士制度」を実施しており、その教育の中で当協会に修復歴車を含めた車両品質評価の研修依頼があり、2018年度においては、全国で393名に研修を行った。

(6) 査定士のための各種研修用教材の開発

2019年度から3年間使用する技能向上研修の教材は、技能向上研修用ノートNo.15「査定知識の再確認」を完成させた。この研修ノートは、車両の点検方法から修復歴のポイントを纏めたもので、査定の要点が再認識できる内容とした。

また、補助教材として「修復歴の判断基準」の改版を行った。修復歴の判断基準は、2019年4月1日より基準変更となる箇所を主とし詳細な部分を分かりやすいものとした。

(7) 一般消費者への査定制度PR

2018年度は、当協会の業務内容については、ホームページの充実を図り広報する他、一般消費者に広く査定協会を広報するため、拡販グッズ(タッチペン付き3色ボールペンと発刊誌イエローブック、シルバークブックの表紙をモチーフにしたメモ帳)の作成配布を行い、さらなるPRに努めた。

(8) 海外中古自動車事情視察団の派遣

2018年10月4日～10月8日の日程で、スリランカへ中古車流通視察を当協会の役・職員及び関係事業者等で行った。

スリランカでは、Sri Lanka Automobile Association in Japan (SLAAJ) の主催するワークショップ及びレセプションに出席し、ワークショップでは、SLAAJ

メンバー、検査会社、輸入管理局、環境省、現地銀行と検査基準等について話し合いを行った。また、レセプションでは、現スリランカ大統領である Pallewatte Gamaralalage Maithripala Yapa Sirisena 氏が出席され、その中で査定協会の PR を行った。

2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

(1) 中古車価格情報内容の充実

2018年度は中古車市場の変動が激しく、市場の変動が読み難い複雑な価格の動きとなった。こうした市場実態の把握が難しい局面が続いている状況の中、ガイドブック作成にあたり「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないように努め、マーケットの状況を迅速にガイドブックの価格設定に反映した。

(2) 中古車ガイドブック発行方法について

販売店の統廃合、価格情報誌の増加やインターネットの普及などにより、当協会が発行する中古車価格ガイドブックの販売部数の減少傾向が続いていることから、今後も購読者の利便を更に向上させるよう JAAI-Net などと連携した価格情報提供など拡販方法の検討を進めている。

また、拡販策として中古車ガイドブック、「シルバースタンプブック」と「イエローブック」を新規査定業務実施店に3ヵ月間無償配布するとともにガイドブックを幅広くPRするようシルバースタンプブックの一部掲載内容を「デジタルブック」として査定協会ホームページに掲載し閲覧できるようにしている。

(3) カーチェック・シート Web 版の活用及び普及

2011年8月に始動した査定総合支援システム「カーチェックス」だが、現在、5メーカーがメーカー主導でほぼ全国の販社で導入し、基幹システム連動を果たしている。他メーカーも連動を予定している。常に販社やメーカーの意見をシステムに反映しアップグレードを図っており導入は増えている。現在もメーカーに対し様々な提案をしているが、今後も現場の意見を聞きながら使用者の利便性を向上させるために開発を続けていく。

(4) 流通相場検索サイトについて

2018年4月に日刊自動車新聞社が運営する「AAD-NET」の事業継承を受けた。

同サイトはオートオークションの実績と店頭小売価格の実績を掲載している。協会としてもカーチェックと連動してユーザーの利便性を高めていたが、事業継承を受けたことにより、ユーザーの意見の反映、会場との直接折衝による掲載会場数の増加等、更なるグレードアップができた。2019年2月には装いも新たに「e-JAN」としてリニューアルオープンをした。

(5) 査定参考文献について

「2018年版の査定ガイド」

各メーカーより新型車が相次ぎ発売されたが、車種やグレードを特定するために型式指定番号と類別区分番号を手がかりとした情報を纏めて、すべての車種を漏れなく収載した。

また、仕様・装備品等も年々増加しており情報内容が複雑化したことから購読者の関心の高い装備品欄をより判り易く纏め、購読者の利便性の向上を図った。輸入車についても国産車同様に情報内容の充実に努めた。

(6) JAAI-Netにて提供する情報内容の充実及び利用会員増加対策の強化

JAAI-Netによる車種諸元情報・中古車価格情報の提供については、カーチェックの車両情報にも使用することから、内容の充実を図るため、車種データの精査を行い、また装備品の種類を増やした。

自動車メーカー、自動車関係団体、損害保険会社等に対して積極的にJAAI-Netの利用を呼びかけた結果、前年に引き続き自動車メーカー1社、関係団体1団体に車種データを損害保険会社1社へは価格情報データを提供することができた。

JAAI-Net会員数は2018年度末で439企業、1,373IDとなった。

3. 査定協会職員による査定及び検査業務の適正な実施

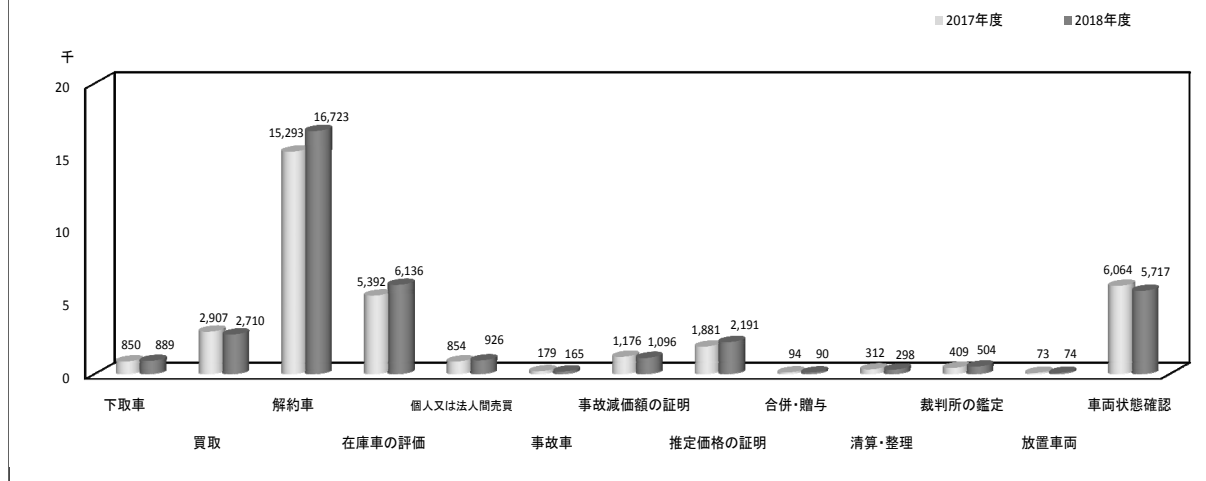
(1) 査定業務の適正な実施

2018年度の査定実績は、37,518台となり、前年比105.7%となった。

依頼目的別の集計では、「下取車」は889台で前年比104.6%、「買取」については2,710台で前年比93.2%であった。

依頼先区分別に見ると、「販売店」からの査定依頼が11,926台で前年比101.4%、専門店は前年比113.0%、一般ユーザーは前年比107.0%となった。

査定実績



(2) 車両状態証明事業（V-CON）の積極的な実施

当協会では、2018年度48支所で車両状態証明事業を実施し、検査台数では120,372台（対前年比121.2%）となり、2008年度より累計で総検査台数が70万台（724,168台）を突破した。

また、認定検査員の育成では121名が合格し、累計合格者は1,462名となった。認定検査員制度は販売店における検査の内製化を促進し、検査費用のコストダウンと消費者からの中古自動車品質に対する信頼度向上の双方に貢献するため、今後も積極的に実施する。

車両状態証明書は、消費者に対して車両状態を的確に伝えることにより、取引の信頼性を向上させることを目的としており、この業務を当協会が実施することにより、中古車業界からの信頼向上に努めている。

(3) 中古車品質証明及び修復歴車判定業務の積極的な実施

当協会では、中古自動車の価格評価以外に、中古車取引において重要なファクターである修復歴車（事故車、事故歴車）か否かの証明を求められることも多く、そのようなケースでは「車両状態確認証明書」を発行して対応している。この「車両状態確認証明書」による証明業務は、2001年度から実施しているが、毎年依頼台数が増加しており、社会のニーズにあった業務として確立されてきている。2018年度においては、全国で5,717台（前年実績6,064台、前年比94.3%）の依頼が

あった。

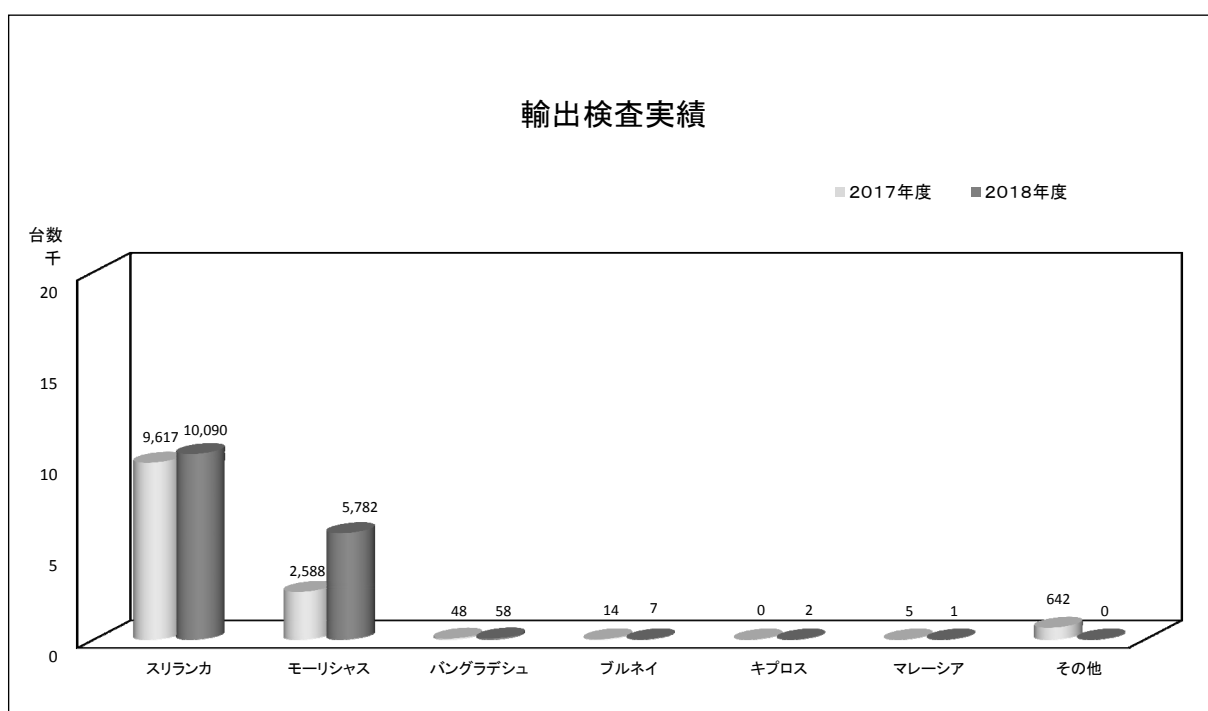
(4) 商品中古自動車確認証明業務の適正な実施

1986年度から実施している当業務は、長引く金利水準の低迷と経営環境の厳しい中、経費節減の観点から自動車販売事業者に浸透しており、2018年度は174,402台（前年169,174台、前年比103.1%）の申請であった。

なお、全国の自動車販売店に還付された商品中古自動車の自動車税減免金額は、約15億6千6百万円となっている。

(5) オークション出品車両及び車両評価の適正な検査の実施

当協会では、オークション会場等から出品車両あるいは展示車両の検査業務を依頼されており、厳正な姿勢で検査を実施している。2018年度は、新車販売台数の低迷の中ではあるが、65,217台（前年比94.3%）であった。



(6) 中古車輸出事業の海外へのPRと信頼される中古車輸出検査の実施

2018年度の輸出検査台数は15,940台（前年比123.4%）であった。

その内、スリランカの検査台数は10,090台（前年比104.9%）、モーリシャスは5,782台（前年比223.4%）となった。

4. その他

(1) 協会内システムの充実

2016年4月に協会版カーチェックスをリリースし、操作性等について支所からの意見・要望等を収集しディーラー版カーチェックスへフィードバックを行い、ディーラーへのシステムの定着を、今後も継続していく。また、査定証発行システム・経理システムとも連動し各支所の利便性の向上・業務効率化を図った。

また、中古自動車査定士技能コンテスト全国大会用に開発した「カーチェックス・コンテスト版」をディーラーが行うコンテストのブロック大会に提供し、システムの有効利用、普及に努めた。

(2) 協会職員の人材教育（経理担当者研修、査定・検査職員研修等）

① 査定長・検査長並びに担当者会議の開催

2019年1月23日、24日の2日間に亘り全国査定長・検査長並びに担当者会議を開催した。主たる内容は、車両状態証明事業（V-CON）検査員管理システム及び証明書レイアウトの変更、マレーシア向け輸出検査基準、輸出検査システム WEB化、価格ガイドブック、査定ガイド、個人情報保護法変更点、各メーカーの動向、e-JAN について説明を行った。また、中古自動車査定基準〔Ⅰ〕と〔Ⅱ〕における加減点基準及び修復歴の判断基準の変更点について説明を行った。

② 職員研修会の開催

2019年2月19日、20日の2日間に亘り全国査定職員研修会を開催した。

主たる内容は、資料を使用したトランク査定に関する座学と、貨物車、クレーン付車、ダンプを使用した実車研修を実施し、トラック査定の基礎と査定上の注意点について研修を行った。

③ 経理担当者研修会の開催

公益目的支出計画の着実な遂行と新々会計基準に基づいた適正、的確な経理処理を行うためと、新経理システムを理解するため、2019年2月7日に集合研修を実施した。また、より理解を深めるために2018年7月から10月にかけてブロック毎の研修会を実施した。

(3) 諸会議の効率的な開催

諸会議の開催を効率的・効果的に進め経費及び時間の節減に努めた。

(4) 業務の効率的な実施による諸経費の削減

業務全般に亘って効率的な遂行を目指し、経費及び時間の節減に努めた。

(5) 関係諸官庁並びに自動車関係団体との緊密な連携と情報交換の実施

関係諸官庁並びに関係団体との連携を密にして、指導と協力を仰ぎ、情報の交換、資料の収集、社会経済情勢の把握に努め、事業の円滑な推進を図った。

(6) 個人情報保護法等法令順守への取組み

2005年より当協会は個人情報保護法に対応するため、「基本方針」、「保護規程」、「情報セキュリティ実施要領」を定めているが、これまで以上に査定士技能検定試験、査定士管理、個別査定等の業務ごとに個人情報を尊重して厳正に業務に取り組むよう徹底に努めている。

今年度も一般財団法人全日本情報学習振興会が主催する個人情報保護士認定試験を希望者が受験し2名が合格した。在籍取得者数は本部・支所含め27名となった。

第53期に開催した主な会議、講習会等

A. 理事会

第172回理事会（2018年6月6日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成29年度(第52期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成29年度(第52期) 計算書類等(案) について
- (3) 事業報告書(案)・計算書類等(案) について監事からの監査報告
- (4) 公益目的支出計画実施報告書(案) について
- (5) 公益目的支出計画実施報告書(案) について監事からの監査報告
- (6) 事務局長の承認について
- (7) その他(理事候補・評議員候補の紹介・臨時理事会開催について)

第173回理事会（2018年6月26日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 代表理事・理事長等の選定について
- (2) 理事会議長の順位決めについて
- (3) その他

第174回理事会（2019年3月25日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成31年度(第54期) 事業計画書(案) の承認について
- (2) 平成31年度(第54期) 収支予算書(案) の承認について
- (3) 第141回みなし評議員会実施について
- (4) 第142回評議員会の開催日程について
- (5) 第175回・176回理事会の開催日程について
- (6) 専務理事俸給の等級変更について
- (7) 事務局長の選任について
- (8) その他

B. 評議員会

第140回評議員会（2018年6月26日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成29年度(第52期)事業報告書について
- (2) 平成29年度(第52期)計算書類等(案)について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書(案)について
- (4) 定款(事業)第4条に事業追加の承認について
- (5) 評議員の交代に伴う選任について
- (6) 理事任期満了に伴う改選について
- (7) その他

C. 技能検定専門委員会

第134回技能検定専門委員会（2018年5月17日） 於「メルパルク東京」

議 題

- (1) 第65回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第135回技能検定専門委員会（2018年7月12日） 於「メルパルク東京」

議 題

- (1) 第65回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

第136回技能検定専門委員会（2018年11月5日） 於「メルパルク東京」

議 題

- (1) 第66回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第137回技能検定専門委員会（2019年1月15日） 於「メルパルク東京」

議 題

- (1) 第66回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

D. 査定基準価格専門委員会

第589回	2018年 4月20日	於「東郷記念館」
第590回	2018年 5月18日	於「東郷記念館」
第591回	2018年 6月15日	於「東郷記念館」
第592回	2018年 7月13日	於「東郷記念館」
第593回	2018年 9月14日	於「東郷記念館」
第594回	2018年10月19日	於「東郷記念館」
第595回	2018年11月16日	於「東郷記念館」
第596回	2018年12月14日	於「東郷記念館」
第597回	2019年 1月18日	於「東郷記念館」
第598回	2019年 2月15日	於「東郷記念館」
第599回	2019年 3月15日	於「東郷記念館」

E. 輸出検査特別委員会

2018年 4月9日	於「本部会議室」
2018年 9月6日	於「本部会議室」
2018年12月7日	於「品川プリンスホテル」

F. 査定士技能検定試験

第65回	2018年 6月17日	小型	受験者数	5,469名
	2018年 6月20日	大型	受験者数	195名
第66回	2018年12月12日	小型	受験者数	7,117名

G. 全国支所長会議

2018年7月19日 於「品川プリンスホテル」

議 題

- (1) 平成29年度(第52期) 事業報告について
- (2) 平成29年度(第52期) 計算書類等について
- (3) その他

2019年2月21日 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成31年度(第54期) 事業計画(案) について
- (2) 平成31年度(第54期) 予算の考え方について

(3) その他

H. 運営企画委員会

第278回運営企画委員会（2018年6月6日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成29年度(第52期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成29年度(第52期) 計算書類等(案) について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書(案) について
- (4) 平成31年度中古自動車査定士技能検定試験実施日程について
- (5) その他

第279回運営企画委員会（2018年12月7日） 於「品川プリンスホテル」

議 題

- (1) 最近の状況について
- (2) 平成31年度(第54期) 事業計画及び予算編成の考え方(案) について
- (3) 各分科会の審議状況・予定について
- (4) 消費税10%UPの対応について
- (5) その他

第280回運営企画委員会（2019年3月25日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成31年度(第54期) 収支予算書(案) について
- (2) 平成30年度各分科会の活動報告について
- (3) 平成31年度各分科会の活動計画について
- (4) その他

I. 全国査定長・検査長並びに担当者会議

2019年1月23日～24日

於「東京グランドホテル」

1日目 出席者72名

2日目 出席者71名

議 題

- (1) 各分科会からの報告
- (2) その他

J. 運営企画部会

2018年 6月 6日		於「東海大学校友会館」
2018年 7月 19日		於「品川プリンスホテル」
2018年 12月 7日		於「品川プリンスホテル」
2019年 3月 25日		於「東海大学校友会館」

K. 査定実務分科会

2018年 4月 25日～26日	(第1回)	於「本部会議室」
2018年 6月 26日～27日	(第2回)	於「本部会議室」
2018年 8月 22日～23日	(第3回)	於「本部会議室」
2018年 9月 11日～12日	(第4回)	於「本部会議室」
2018年 10月 30日～31日	(第5回)	於「愛知」
2018年 12月 20日～21日	(第6回)	於「航空会館」
2019年 1月 8日～9日	(第7回)	於「本部会議室」

L. 教材分科会

2018年 4月 17日～18日	(第1回)	於「本部会議室」
2018年 5月 15日～16日	(第2回)	於「本部会議室」
2018年 7月 9日～10日	(第3回)	於「本部会議室」
2018年 9月 25日～26日	(第4回)	於「本部会議室」
2018年 11月 12日～13日	(第5回)	於「本部会議室」
2018年 12月 17日～18日	(第6回)	於「本部会議室」
2019年 1月 30日～31日	(第7回)	於「本部会議室」
2019年 2月 27日～28日	(第8回)	於「本部会議室」
2019年 3月 26日～27日	(第9回)	於「本部会議室」

M. 査定基準価格分科会

2018年 4月 3日～4日	(第1回)	於「本部会議室」
2018年 6月 4日～5日	(第2回)	於「本部会議室」
2018年 7月 2日～3日	(第3回)	於「本部会議室」
2018年 8月 2日～3日	(第4回)	於「本部会議室」
2018年 9月 3日～4日	(第5回)	於「本部会議室」
2018年 10月 2日～3日	(第6回)	於「本部会議室」
2018年 11月 1日～2日	(第7回)	於「本部会議室」

2018年11月29日～30日	(第8回)	於「本部会議室」
2019年2月4日～5日	(第9回)	於「本部会議室」
2019年3月4日～5日	(第10回)	於「本部会議室」

N. 輸出検査実務分科会

2018年8月29日	(第1回)	於「本部会議室」
2018年9月18日～20日	(第2回)	於「沖縄」
2018年11月26日	(第3回)	於「本部会議室」

O. V-C O N推進分科会

2018年4月12日～13日	(第1回)	於「本部会議室」
2018年6月28日～29日	(第2回)	於「本部会議室」
2018年8月27日～28日	(第3回)	於「本部会議室」
2018年11月6日～7日	(第4回)	於「青森」
2019年1月10日～11日	(第5回)	於「本部会議室」

P. システム分科会

2018年6月19日～20日	(第1回)	於「本部会議室」
2018年8月7日～8日	(第2回)	於「本部会議室」
2018年10月30日～31日	(第3回)	於「本部会議室」
2019年1月28日～29日	(第4回)	於「本部会議室」
2019年3月12日～13日	(第5回)	於「本部会議室」

Q. 職員の研修会

(1) 全国査定職員研修会

2019年2月19日～20日

1日目	参加者61名	於「神戸ポートピアホテル」
2日目	参加者58名	於「いすゞビューマックス神戸会場」

(2) 全国経理担当者研修会

2019年2月7日 参加者63名 於「東京グランドホテル」

(3) V-C O N本部研修・資格試験

2018年6月12日 参加者1名 於「本部会議室」

2018年 9月11日	参加者 3名	於「航空会館」
2018年12月18日	参加者 4名	於「航空会館」
2019年 3月 8日	参加者 2名	於「本部会議室」

(4) 輸出中古自動車検査員資格研修・試験

2018年 7月26日	参加者 7名	於「本部会議室」
2018年12月13日	参加者 4名	於「大阪」

(5) 新任事務長研修会

2018年 5月28日	参加者 18名	於「品川プリンスホテル」
-------------	---------	--------------

(6) 協会経理業務勉強会

2018年12月 5日～ 7日	参加者 10名	於「本部会議室」
2018年12月19日～21日	参加者 12名	於「本部会議室」
2019年 1月16日～18日	参加者 6名	於「愛知」

R. 業務日誌作成・実施・検討会議

2018年 4月10日	於「本部会議室」
-------------	----------

S. コンテスト全国大会関連

第8回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会

2018年 7月20日	於「品川プリンスホテル」
-------------	--------------

審査委員会	7月18日～20日	出席者 13名
-------	-----------	---------

運営・実行合同委員会	7月19日	出席者 33名
------------	-------	---------

選手激励会	7月19日	出席者 270名
-------	-------	----------

コンテスト全国大会	7月20日	出席者 398名
-----------	-------	----------

第9回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会準備委員会

2019年 2月28日	参加者 8名	於「愛宕弁護士ビル」
-------------	--------	------------

T. その他

第53期に作成した主な出版物

『査定ガイド』 (2018年版)